

## 中国：平陸運河開発の進展

広西チワン族自治区は中国南部の自治区で、東は大都市の広州市・深圳市を擁する広東省に、北は湖南省、貴州省に、西は雲南省にそれぞれ接する。南西は北部湾に臨みベトナムと国境を接する。同自治区の経済レベルは、中国南部の省および省級自治区の中では決して高くないが、近年、インフラ開発、外交の展開等により発展が見込まれる地域である。その目玉のプロジェクトのひとつとなるのが、平陸運河の開発である。

2019 年 8 月、国家発展改革委員会は、「西部陸海新ルート全体計画」を発表した。この計画は、重慶市、四川省、広西チワン族自治区、雲南省等の南部地域の陸水路をはじめとする大規模なインフラを構築することで、「北はシルクロード経済ベルト、南は 21 世紀海上シルクロードに接し、長江経済ベルトと連携・リンクするもので、地域の協調的発展の構図において重要な戦略的地位を持つ<sup>1</sup>」のものであると強調している。そしてもうひとつの狙いは、ASEAN 諸国へのアクセスを容易にし「一带一路」の更なる発展を促進することである。

本計画の中で「交通拠点における主要プロジェクト」のひとつとして、「平陸運河の研究と実証<sup>2</sup>」が挙げられており、平陸運河の開発に向けた本格的な準備が進むことになる。

平陸運河は、同自治区の首府である南寧市から欽州市を経て北部湾に至るルートとなる。ちなみに南寧市はベトナム領内から流れる左江と、雲南省文山チワン族ミャオ族自治州から流れる右江が合流し鬱江となる水路の要衝である。平陸運河が完成すると、これまで南西部の内陸の河川から海に出るために鬱江および西江を含む珠江水系から広東省広州を經由し香港・マカオ間の珠江河口まで出る必要があったが、直接北部湾から出て航行距離を 560km 以上短縮することができる。

---

<sup>1</sup> 中华人民共和国中央人民政府《国家发展改革委关于印发《西部陆海新通道总体规划》的通知》2019-08-15

[https://www.gov.cn/xinwen/2019-08/15/content\\_5421375.htm](https://www.gov.cn/xinwen/2019-08/15/content_5421375.htm)

<sup>2</sup> 同上。また第 2021 年に発表された「中華人民共和国国民経済・社会発展の第 14 次五カ年計画 および 2035 年までの長期目標綱要」

([https://www.gov.cn/xinwen/2021-03/13/content\\_5592681.htm?dt\\_platform=weibo&dt\\_dapp=1](https://www.gov.cn/xinwen/2021-03/13/content_5592681.htm?dt_platform=weibo&dt_dapp=1)) でも同運河について言及されている。



図1 広西チワン族自治区および平陸運河

2022年8月28日、欽州市靈山県で「平陸運河建設動員大会」が開催され、この日から正式に建設工事が開始された<sup>3</sup>。平陸運河の全長は135km、5,000トン級の船舶が航行可能となり、推定投資総額は727.3億元で、工期は54カ月。また水供給、灌漑、洪水防止、水生態系の改善を組み合わせた実証的な研究も開発に合わせて行うという<sup>4</sup>。

2024年3月31日現在、平陸運河の累計投資額は約290.2億元で、このうち50.9億元については第1四半期に完成し、事業目標の113.1%に達する。累計土石掘削量は約1.86億 $m^3$ となり<sup>5</sup>、その建設ペースは比較的順調である。

また一般的に中国では、春節のタイミングで出稼ぎ労働者が故郷に戻り、その後元の職場に戻らないケースが少なくないが、平陸運河の建設関係者および大型機械の2024年の春

---

<sup>3</sup> 《平陆运河建设正式开始 百年夙愿从梦想照进现实》广西日报，2022-08-29  
<https://gxb.gxb.com.cn/?name=gxb&date=2022-08-29&code=010&xuhao=1>

<sup>4</sup> 《平一图概览运河规划》广西日报，2022-08-29  
<https://gxb.gxb.com.cn/?name=gxb&date=2022-08-29&code=010&xuhao=1>

<sup>5</sup> 《平陆运河建设实现2024年一季度“开门红”》人民网 广西频道，2024-04-02  
<http://gx.people.com.cn/n2/2024/0402/c179464-40797058.html>

節明けの再稼働率は100%に達した<sup>6</sup>という。

本稿では平陸運河を中心に論考を展開したが、機会をあらためて同運河の開発とも結びつく広西チワン族自治区の経済、開発状況について論じたい。

(石川 晶)

---

<sup>6</sup> 《西部陆海新通道骨干工程——平陆运河全面复工复产》中国新闻网，2024-03-01  
<https://www.chinanews.com.cn/cj/2024/03-01/10172929.shtml>

## 【中国】【産業】中国工業情報化部、2024 年度中小企業特色産業クラスターの企業推薦の通知を発出

2024 年 4 月 8 日付、工業情報化部中小企業局は「2024 年度の中小企業特色産業クラスターの企業の推薦の通知<sup>7</sup>」を発出し、2024 年度の「中小企業特色産業クラスター」の支援対象の中小企業の推薦を行うよう全国の各省、自治区、直轄市に通知した。2024 年 7 月 31 日までに各省、自治区、直轄市はそれぞれ 8 社までの地元の中小企業を推薦することができる。

中小企業特色産業クラスターは 2022 年 9 月 13 日施行の「中小企業特色産業クラスターを促進させる暫定弁法」にもとづき打ち出された中小企業育成を図る経済政策である。中小企業を新たな発展概念にもとづき主要産業の強力な競争力を備えた中小企業のネットワークを形成するための産業クラスター化を促進することをめざす。中小企業の競争力を強化して地方経済の活力を刺激し、産業チェーンとサプライチェーンを強化することを目的とする。

中小企業のイノベーションを重視し政府の指導と市場による牽引力を組み合わせることで優秀な中小企業の育成と産業基盤の強化を促進することを狙う。「第 14 次 5 カ年計画」期間末の 2025 年までに全国で約 200 カ所の産業集積を形成することが目標とされ、地方政府は各地の産業クラスターの育成を支援する。

## 【中国】【産業】中国、付加価値電気通信サービスの試験的開放拡大へ

工業情報化部は 2024 年 4 月 10 日付で「付加価値電気通信サービスの開放拡大に関する試行作業の実施に関する通告<sup>8</sup>」ならびに「付加価値電気通信サービスの開放拡大に関する試行計画<sup>9</sup>」を公表した。付加価値通信サービスの開放政策を試験的に拡大し、開放を通じて国際的に高水準の経済・貿易ルールに積極的に整合し、市場競争と企業の活力を刺激し、

---

<sup>7</sup> 工业和信息化部《工业和信息化部办公厅关于组织推荐 2024 年度中小企业特色产业集群的通知》2024-04-08

[https://www.miit.gov.cn/zwgk/zcwj/wjfb/tz/art/2024/art\\_5832130d50ac49fba6046af36498ccd4.html](https://www.miit.gov.cn/zwgk/zcwj/wjfb/tz/art/2024/art_5832130d50ac49fba6046af36498ccd4.html)

<sup>8</sup> 工业和信息化部《关于开展增值电信业务扩大对外开放试点工作的通告》2024-04-08

[https://wap.miit.gov.cn/zwgk/zcwj/wjfb/tg/art/2024/art\\_2326271e1b424e09b6e5924ad2948863.html](https://wap.miit.gov.cn/zwgk/zcwj/wjfb/tg/art/2024/art_2326271e1b424e09b6e5924ad2948863.html)

<sup>9</sup> 中华人民共和国中央人民政府《增值电信业务扩大对外开放试点方案》2024-04-10

<https://www.gov.cn/zhengce/zhengceku/202404/P020240410661560824373.pdf>

中国のデジタル経済を発展させる。同時に、自由貿易港、自由貿易試験区などにおける試験的開放を通じて、改革開放の総合的な実験プラットフォームとしての役割をさらに強化し、電気通信産業の開放における経験をさらに蓄積することを狙う。

中国政府は「国内大循環」と「海外大循環」の二重の循環が相互に促進し合う「双循環」経済発展モデルを打ち出している。2023年9月、習近平国家主席は2023年中国国際サービス貿易サミットでのビデオスピーチで、電気通信、観光、法律、職業試験などのサービス分野で積極的な対外開放を進めていく考えを表明した。今回の付加価値通信サービスの試験的な解放政策の打ち出しはこの政策方針に沿った方向とみられる。

試験的な付加価値通信サービスの解放は北京のサービス産業開放拡大総合実証区、上海自由貿易試験区内の臨港新区と社会主義近代化指導区、海南自由貿易港、深セン社会主義実験実証区の4つの地域で進められる。

### **【中国】【エネルギー】世界初の300メガワット級圧縮空気エネルギー貯蔵発電所が発電開始**

中国能源建設集团有限公司の公式発表によると、2024年4月9日、世界初の300メガワット級の圧縮空気エネルギー貯蔵発電所である300メガワット級圧縮空気エネルギー貯蔵発電所（湖北省應城市）のデモンストレーションプロジェクトが初めて系統連結に成功し、単機出力、貯蔵規模、変換効率の3つの世界記録を樹立した。同プロジェクト完成後、年間貯蔵ガス量は19億立方メートルに達し、発電量は約5億キロワット時となる。

同プロジェクトは、中国能源建設集团有限公司が独自に開発した圧縮空気エネルギー貯蔵システムのソリューションを採用しており、中国の国家新型エネルギー貯蔵試験デモプロジェクトである。総投資額は約195億人民元で、単機出力は300メガワット級となり、貯蔵容量は1,500メガワット時に達し、システムの変換効率は約70%である。

圧縮空気エネルギー貯蔵技術は、水力貯蔵に次ぐ最も成熟した物理的エネルギー貯蔵技術の1つであり、現在、大規模で長時間のエネルギー貯蔵技術の開発が注目されている。発電所の建設期間は約2年で、水力貯蔵発電所の6～8年に比べてはるかに短く、規模、寿命、コスト、効率の面で水力貯蔵発電所と同等またはそれ以上の性能を持つ、「スーパーグリーンバッテリー」と呼ばれるほどである。

出典：<https://www.china5e.com/news/news-1168263-1.html>

## 【インドネシア】【国家戦略プロジェクト】政府が新たに14のプロジェクト開発を決定

インドネシア政府は、同国における公平な発展を実現させるため、14の新たな国家戦略プロジェクト(PSN)を決定した。

経済担当調整省の広報担当官の説明によると、運輸、インフラ、エネルギー、健康、電気通信の分野に渡る14の新たなプロジェクトは、政府がステークホルダーと調整し、綿密な調査を行った上で策定されたもので、全て民間資本による投資で進められる。また、開発地域は、リアウ諸島、バンテン、ジャカルタ、西ジャワ、東ジャワ、東カリマンタン、中部スラウェシ、南東スラウェシの各州に振り分けられており、広範囲に及ぶ経済効果が期待される。

インドネシア国営 ANTARA 通信が2024年3月24日付で伝えた<sup>10</sup>。

### ジョコ・ウィドド大統領により承認された14の国家戦略プロジェクト<sup>11</sup>

1. Pantai Indah Kapuk Tropical Concept.
2. Wiraraja Industrial Zone in Galang Island.
3. North Hub Development Project Offshore in East Kalimantan.
4. Neo Energy Parimo Industrial Estate in Central Sulawesi.
5. Patimban Industrial Estate in Subang.
6. Giga Industrial Park in Southeast Sulawesi.
7. Kolaka Resource Industrial Zone in Southeast Sulawesi.
8. Stargate Astra Industrial Zone in Southeast Sulawesi.
9. Surabaya Waterfront Coastal Area.
10. Neo Energy Morowali Industrial Zone in Central Sulawesi.
11. Integrated Area in Bumi Serpong Damai (BSD).
12. Toapaya Industrial Zone in Bintanm Riau.
13. Toll Road in Harbour Road II Section in North Jakarta.
14. Inner-city toll road in Bandung.

出典：インドネシア政府

---

<sup>10</sup> “Government announces 14 new national strategic projects”

(<https://en.antaranews.com/news/309192/government-announces-14-new-national-strategic-projects>)

<sup>11</sup> “Indonesia to Develop 14 New PSN to Boost Growth”

(<https://indonesia.go.id/kategori/editorial/8090/indonesia-to-develop-14-new-psn-to-boost-growth?lang=2>)

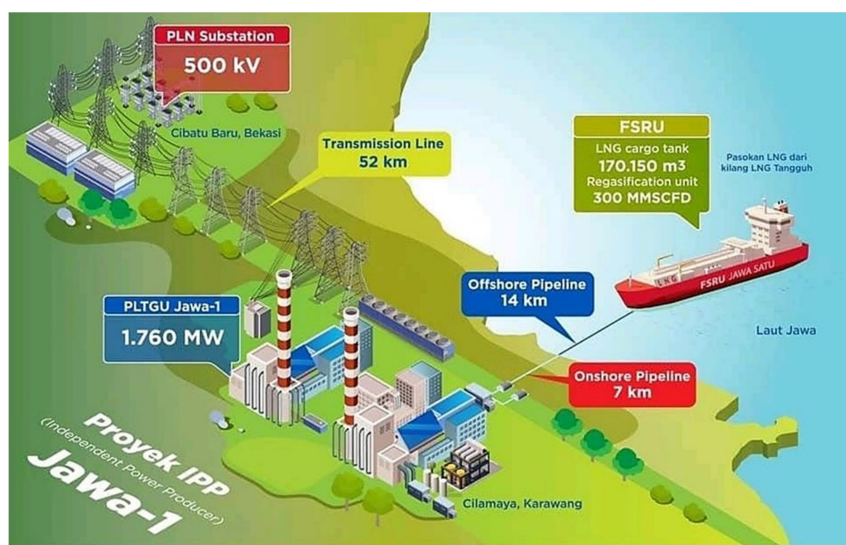
## 【インドネシア】【エネルギー】 ジャワ 1 LNG 火力発電所が商業運転開始へ

インドネシア国営石油・ガス会社プルトaminaは2024年3月30日、ジャワ1 LNG 火力発電所（西ジャワ州カラワン - ジャカルタの東方約100km）の試運転が3月29日に行われ、商業運転の準備が完了したと発表した<sup>12</sup>。インドネシアは、再ガス化システムを備えた東南アジア最大規模の複合火力発電所を正式に稼働させる。

ジャワ1 LNG 火力発電所は、プルトamina傘下のプルトamina新・再生エネルギー(プルトamina NRE)、丸紅株式会社、双日株式会社が共同出資する事業会社 PT Jawa Satu Power (JSP) により運営される。

このジャワ1 LNG 火力発電所は、浮体式 LNG 貯蔵・再ガス化設備 (FSRU) とそれぞれ880MWの容量を持つ2つの発電ユニットからなる LNG 火力発電ユニット (1,760MW) が統合された複合火力発電所となっている。

この事業は、パプアのガス供給とジャワ島・バリ島における電力需要をつなぎ、CO<sub>2</sub> 排出量の面では年間330万トンの削減が見込まれている。



出典：Jawa Satu Power

---

<sup>12</sup> “Reducing Carbon Emissions by 3.3 Million Tons Per Year, Jawa-1 PLTGU, the Largest in Southeast Asia, is Ready to Operate”

(<https://www.pertamina.com/en/news-room/news-release/reducing-carbon-emissions-by-3.3-million-tons-per-year-jawa-1-pltgu-the-largest-in-southeast-asia-is-ready-to-operate>)